



基本理念
私達は心の
こもった医療を
行い、地域に信頼
される病院とな
ることを目指し
ます。
独立行政法人
国立病院機構高知病院

編集●独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会／代表●大串文隆／住所●高知市朝倉西町1丁目2番25号／電話 088-844-3111／FAX 088-843-6385

四者協議会合同会議



NHO高知病院 院長
大串 文隆

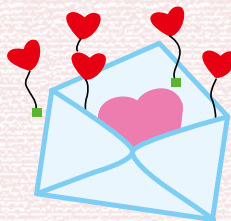
9月14日と15日の2日間、平成29年度中国四国地区院長協議会、看護部長協議会、事務部長協議会、副学長・教育主事協議会の四者協議会合同会議が丸亀市で開催されました。この合同会議は例年9月に開催されていますが4協議会共通のテーマとそれぞれの協議会の直面する個別テーマについて意見交換することが目的の会議で各施設の情報を得る貴重な機会となっています。

最も重要なのは共通テーマについての意見交換ですが今年のテーマは「経営～平成31年度黒字化を目指して」でこれは機構本部の目標にもなっております。国立病院機構は平成16年に独立行政法人化し、独立採算で経営をしてきておりますが、機構病院の施設の老朽化に伴う建て替え、医療機器の購入などが重なり経営状況が厳しくなっているようです。国立病院機構の運営は本部が各施設からの拠出金を管理し、私達の病院はそこから資金を借りて運営していますが、借入金の返済ができない病院が増えたため本部の資本が不足し経営難に陥っているとのこと。他人事のようですが、実は高知病院も借入金の返済が滞っている施設の一つです。高知病院、岡山医療センターは国時代に建築された最後の病院で多額の資本が投資されましたが、独立行政法人化に伴いその費用が各病院の負債となり返済義務が生じ現在に至っています。このような事情から高知病院は独立行政法人化に際し経営指導を受ける立場である再生プラン病院としてスタートしましたが、職員全てが危機感を持って経営努力を重ねてきた結果、独立行政法人化してから現在まで損益上単年度の黒字を続けてきています。しかしながら、高

知病院の借入金の返済額は多額で本部の返済計画通りにはできておらず資金繰りは極めて厳しい状況です。単年度黒字であっても資金繰りが回らなければ黒字倒産と言われておりますが高知病院はまさに黒字倒産の病院です。先日の院長協議会で病院の評価は損益上の結果より資金繰りの状況で判断すべきとの意見がだされ本部の考え方も同じとのことで私達の病院は非常に厳しい立場に置かれた状況にあります。借入金の返済ができない病院は施設建て替えや医療機器の整備に対する投資が困難となるという見解が出されましたが私達の病院はこれに当てはまります。良質な医療の実践には医療機器の整備なくしては困難であることは自明のことですが機構本部がそれほど厳しい状況であることの裏返しでもあります。高知病院は残念ながら今はキャッシュの回らない病院ですが、もう少しだけ成績を上げることでこの環境から脱却することが可能となるところまでできています。そのためには病院職員が心を一つとして経営改善策を断行し資金繰りをよくする以外に方法はありません。

今、私達に必要なことは意識改革で、赤字を続けていても最後は国や機構がなんとかしてくれるという従来の考え方を捨て去ることが第一歩ではないかと考えます。機構はなくなりませんが機構病院の中でもない病院は近いうちにでてくるかもしれません。しかし、なくなって困るのはその病院で働いている職員です。高知病院にとってここ数年が最も重要な時期と考えますが皆さんと力を合わせてこの難局を乗り切っていきたいと思っています。

助産師が中高生への 「いのちの教室」 出前授業しています



助産師 山口 果奈

高知県看護協会助産師職能委員会の活動として、4階南病棟の3名の助産師が、学校からの依頼を受け、中学生高校生への授業を行っています。いのちの誕生にかかわっている助産師の立場から、いのちの大切さを伝える活動をしています。授業では、妊娠の経過をエコーの写真や胎児人形を用いてわかりやすく説明した後、学校の先生に妊婦さんになってもらい出産劇をしています。学生に出産の大変さを知ってもらうことで、両親が命懸けで生んでくれた自分の命の大切さを感じ、周りの人の命も同じよう

に大切ということを感じてもらえたらと思っています。また、高知県の10代の人工妊娠中絶の現状や、中絶、性感染症とその予防方法について説明し、自分のからだのことであり、自分も相手も大切にしたい行動ができるよう、将来にむけて元気に生きていて欲しいという思いを伝えています。授業の中では、学生から質問も多くあり、興味を持って聞いてくれていて、私もやりがいを感じながら楽しく授業をしています。

いのちの教室の中学生の感想

- 自分達が生まれる確率は1440億分の1という
- 確率だと知って、自分の命の大切さと自分を産
- んでくれた親への感謝の気持ちが心に残った。



- 私達が生まれてくるまでにたくさん
- んの愛情が注がれていること、み
- んなの命は言葉で表せないくらい
- 大切なもので、自分もそれを自覚
- して生きていきたいと思った。

- 命の大切さを改めて感じて、「人は一人として同じ人はいない」というのが心に響いた。自分の行動一つ一つに責任を持ち、相手の気持ちも考えながら、自分のことも大切に生きていきたいと思った。



- 高知県は10代の中絶率が上位にいることに驚いた。性行為は軽い気持ちでやってはいけないし、考えて行動すること、相手には自分の意思をしっかりと伝えることが大事なことだと思った。



- ネットの誤った情報や噂で勝手に判断せず、自分の気持ちをちゃんと持って正しいことを選べるような人になりたい。本当に自分を愛してくれる素敵な人に出会いたいと思う。LINEとか顔が見えないやり取りにも気を付けないといけないと思った。

慰霊祭を開催して

職員係長 和田 吉弘



当院では9月29日（金）に、病理解剖による医学・医療への貢献をなされたご尊霊に対して、哀悼の誠と感謝の意を捧げるために慰霊祭を開催させていただきました。平成27年度から平成28年度にご献体を捧げて下さった31名とご家族に対し無宗教方式の案内をさせていただきました。

まだ暑い日が続く中、9名のご家族の方にご参加いただき、その他職員48名、看護学生44名が参列し、



滞りなく執り行うことができました。

慰霊祭では、ご献体を捧げて下さった方のお名前を読み上げ、全員で黙祷を捧げました。その後、院長より弔辞としてご尊霊とご家族に対し哀悼と感謝の意を捧げられました。ご家族にとっては、医学発展の為とはいえ、ご自分のご家族を病理解剖の為にご献体を捧げるということには大変な思いがあったと思いますが、多数の参加をいただき、病院としても感謝申し上げる次第です。

そして、ご家族の方、職員一同で献花を行い、その後慰霊祭は滞りなく終了しました。

約40分という短い時間でしたが、私たち医療に関わる者として、感謝を忘れないために開催して良かったと思っています。

今回、ご参列して下さったご家族の皆様へ深く感謝すると共に慰霊祭を開催するにあたり準備や出席していただいた職員等の方々に対し、お礼申し上げます。

病院出前行政相談所を開設しました



庶務班長 田中 通弘



当院では、総務省 高知行政評価事務所の依頼に協力して、7月6日（木）に「病院出前行政相談所」を開設しました。「病院出前行政相談所」とは、行政機関や弁護士などが参加して、日頃、行政相談の利用が難しい入院・外来患者の方々が抱える行政などへの相談、要望などを受け付け、その解決を図る目的のものです。

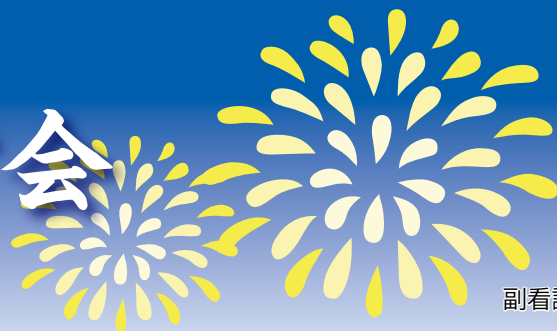
当日は、午前9時前に開会式で院長よりごあいさつさせていただき、高知県、高知市などの行政機関や弁護士、税理士ら10機関が一同に集まり、スタートしました。相談受付が終わる午後2時には、税金、保険・年金、登記、民事等の幅広い分野の相談が43件寄せられ、盛況のうちに終了しました。普段であればさまざまな窓口に関わり合わないといかないこれらの行政サービスをワンストップで利用で

きることは入院患者さんや外来患者さんのためにとっても良い機会となったと思います。

高知行政評価事務所やご参加いただいた方々にお礼を申し上げるとともに、今後もできる限りこういった機会を設けられればと思います。



花火鑑賞会



副看護部長 松下 愛子

昨年の夏、病棟の患者さん達が東側の廊下集まる姿がありました。よさこいの前夜祭に行われる納涼花火大会がちょうど窓越しに見えていました。廊下のつきあたりの窓から車椅子に腰掛けて花火を眺めている患者さん達を見て「病院の屋上から見ることはできないか」と屋上に出してみました。しかし、方向が違い見ることはできません。「7階の食堂であれば見ることはできるのではないか…」と思いつきましたが、食堂は閉店している時間で入ることはできません。「来年、食堂を開放できれば患者さん達が花火を見ることができ！」看護部長のアイデアと食堂のご厚意により、今年は納涼花火大会の時間に食堂を開放することができました。

「花火鑑賞会」と銘打ち、『がんサロン“希望”』に集ってくれている患者さん達に、がん性疼痛認定看護師から声かけをお願いしました。

当日、21名の患者さんが「花火鑑賞会」に来られました。点滴台を押しながら来られた女性の患者さんは「今年は花火を見られんと思った。きれいやねえ」と感想を言ってくださいました。また、女性同士で来られた患者さんは「上からこんな風に見たのは初めて。近所に住んじょっても音を聞くばあやったきねえ」と笑顔で話されていました。最後ま

で鑑賞されていたご夫婦は、長い時間座られていたので心配しましたが、ご主人の背中に奥様がそっと手を回し、支えられながら病棟へと帰って行かれました。夕闇から漆黒へと色を変えた高知の夜空を彩る大輪の花火は、患者さんやご家族の皆様にも、穏やかな気持ちとなるひとときとなったのではと思っています。



平成29年度

つくし花火大会



保育士 川上 洋美

8月29日（火）重症心身障害病棟恒例の「つくし花火大会」を療育訓練室にて開催いたしました。昨年は3病棟合同での花火大会は見送られた為、2年ぶりの開催になりました。当日は天候にも恵まれ、鈴虫の音色に秋の気配も感じる一日でした。利用者さんは甚平やハッピを着て気持ちはまだまだ夏真っ盛りの様子です。今年は高知県立大学・高知大学のマンドリンクラブの皆さんにボランティア演奏に来ていただき、素敵な演奏を聴かせていただきました。懐かしい曲や知っている曲が聴こえると一緒に口ずさむ方や、手拍子でリズムにのっている方もおり、それぞれが楽しみながら参加していました。

その後は、療育訓練室西側テラスにてお待ちかねの花火の時間です。児童指導員や病棟スタッフが花火師となり、吹上花火や打ち上げ花火に点火。大きな音に驚きながらも、綺麗な花火に歓声が聞かれました。児童指導員力作のナイアガラが始まるとひときわ大きな歓声で盛り上がりおりました。

手持ち花火では間近で見る花火にうっとりと見とれたり、家族と一緒に楽しい時間を過ごしたりと笑顔が絶えない時間となったようです。

また、今回は花火大会の会場に参加出来なかった利用者さんの元へ、マンドリンクラブの皆さんが訪問演奏をして下さり、短い時間ではありましたが涼やかな演奏を楽しむことが出来ました。

つくし病棟では今後も様々な行事を予定しています。これからも多職種との連携を密にしながら、楽しい行事を展開し皆さんの生活を少しでも豊かに出来るよう取り組んでまいります。



外来待ち時間検討委員会

専門職 丸尾 芳光



外来患者さんの診察待ち時間については、アンケートでも多くのご意見をいただいているところであり、患者満足度向上のためにも対策を講じる必要があります。そこで、院内で部門を横断して様々な職種を委員とした外来待ち時間検討委員会を発足し、少しでも待ち時間が短縮できるよう話し合う取り組みを始めました。各部門からの様々な角度から見た、対応策等を出し合い、「できることから始めよう!」と、職員が一丸となって動きだしました。

まず、他の病院が待ち時間短縮についてどのように工夫されているのかを参考にしようと考え、他の病院へ問い合わせしてみました。しかし、どの病院も苦勞されているようであり、当院と同じように対策チームを構成して、対策を検討中というところが多く見受けられました。

そういった中で、すぐにでもできることは何かと考えた時、まず、予約診療が今現在どのような状況で進んでいるのかを表示することが必要という結論

に至りました。患者さんの立場からすれば、自分の順番まであとどれくらいなのか、大体の目安がなければ、ただ不安になるばかりだと思います。そこで現在、外来に予約診療の進捗状況を試行的に掲示しています。外来待ち時間検討委員会では、これからも外来患者さんの待ち時間を少しでも短縮できるように、委員全員で考えながら、努力していきたいと思っています。

診療科	医師	現在診察中の 予約時間帯
●●科 診 察 室 ①	●● ●●	9 : 00
		9 : 30
		10 : 00
		10 : 30
		11 : 00
		11 : 30
		12 : 00

看護専門コース公開講座 (皮膚・排泄ケア専門分野) について

皮膚・排泄ケア認定看護師 竹長 幸子



私は、今年度専門看護研修「皮膚・排泄ケア分野」を担当させて頂いております。研修の目的は、予防から発生後まであらゆる状況の創傷をもつ患者様に、状況に合わせた的確な評価を行い、よりよいケアが実践できるための知識と技術を修得する事です。研修では、褥瘡いわゆる床ずれへのケアを行う上で基礎的な知識となる皮膚の構造と役割や加齢・化学療法・放射線療法といった皮膚に影響を与える要因といった内容を行っています。また、皮膚に影響を与える要因により脆弱な皮膚となった方へのスキンケアや床ずれが発生しやすい方へのケアを予防から発生までの看護の視点、実際のケア方法といった内容も行っています。

研修では、院内・院外の多くの方が参加され、研修生からは分かりやすく非常に参考になると評価をいただいております。

当院は、皮膚・排泄ケア認定看護師が2名おります。私たちは、ケアの必要な患者さん・ご家族へ入院前から入院中、退院後の外来通院や地域の病院へ帰られた後という経過を通し、連携を取りながらケアやご相談に関わっております。

その中で私は、皮膚・排泄ケア認定看護師としての専門的な知識と技術を基に、褥瘡対策における予防から発生までの対策や失禁による皮膚障害へのケア方法の向上により、ケアの必要な患者さんが質の高いよりよい看護を受けられる事を目指しています。

今回の研修を通して、看護師個々が皮膚・排泄ケアの必要な患者さんにとってよりよい看護が提供できるよう取り組んでいきたいと思っています。

中国四国地区国立病院機構・ 国立療養所看護研究学会

看護師 中嶋 美奈

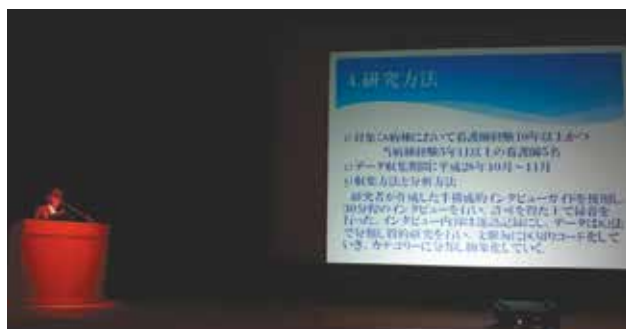


9月9日に開催された中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会に初めて参加させていただきました。学会では「外科病棟におけるベテラン看護師の終末期患者・家族への意思決定支援のあり方」について口演発表を行い座長賞をいただくことができました。今回の研究では、現在勤務している3階南病棟での日々の看護の中で、どのような関わりが患者様や家族の意思決定を支援できるのか明らかにすることができました。ベテラン看護師は、何気ない会話から意図的に聞き出し、タイミングを図りながら関わることで患者様や家族の意思を確認していることが分かりました。そして、終末期看護に対する看護観を持って関わっていました。

学会では、他施設の様々なテーマの研究を聞くことができました。終末期がん患者に対する家族の思いを明らかにした

ものでは家族看護の大切さを改めて学び、痛みの評価についての研究では、患者様自身と医療者で共通のツールを使用し痛みの評価を行っていくことが必要であることを学びました。

今後、今回発表した研究結果を病棟の経験の少ない看護師に伝え、終末期患者・家族へのよい関わりができるように活かしていきたいと思います。また、他施設の研究で学んだことは今後病棟で取り入れ看護に活かせるよう提言していきたいと思っています。



診療科紹介

「内科」

内科医長 岩原 義人



私の専門は血液疾患です。悪性リンパ腫や多発性骨髄腫などの造血器腫瘍、骨髄異形成症候群や特発性血小板減少性紫斑病などの難治性血液疾患、その他の各種貧血等の診療を行っています。これらの疾患の予後は新規薬剤の開発などにより着実に改善してきています。

慢性骨髄性白血病はその代表的な病気です。私が研修医のころ、この病気の患者さんは時限爆弾を抱えて生きているのと同じでした。発症後数年経つと急性転化を起こし、その後短期間でなすすべなく亡くなっていきました。私たちは急性転化までの時間を延長させることすらできず茫然とするしかありませんでした。

2001年、夢の新薬・イマチニブが日本でも承認さ

れ、この病気の治療は一変しました。患者さんは長期生存が可能になり、完治も可能かも知れないというところまで来ています。

この薬の開発の陰には血液学者たちの懸命の奮闘があり、損得を無視した一途な情熱のおかげで奇跡的に早期の承認が実現し、多くの生命が失われずに済んだ…最近おそまきながら、ある本からそんな物語を知ることができました。

水を飲むときは、井戸を掘った人のことを思え。今では至極当然のようにこの薬を処方しています。目の前の患者さんの診療に集中しながら。でも時に、21世紀であったなら失われずに済んだ患者さんの人生を思い、心優しい研究者の物語に思いを巡らせるようになりました。

感染管理室だより

RSウイルス感染症について

感染管理認定看護師 河村ひとみ



朝夕は涼しくなり、秋風がこちよい季節となりました。気温の変化や空気の乾燥しやすいこれらの季節は、体調の変化や呼吸器感染症などに注意が必要です。

今年はRSウイルスの流行が夏場からみられているようです。RSウイルス感染症は、例年、季節性インフルエンザに先行して、夏頃より始まり秋に入ると報告数が急増し、年末をピークに春まで流行が続くことが多いといわれています。国立感染症研究所のホームページ¹⁾では、「2017年は7月上旬から報告数が急増しており、9月ごろから急増した過去数シーズンと比較すると早い時期からの増加となっている。第34週（2017年8月21～27日：8月30日現在）の患者報告数は、過去10年間の同時期と比較すると最も多い」と報告されています。

乳幼児期に特に多く、症状としては軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々で、重症化することもあります。成人では感冒様症状、インフルエンザ様症

状を呈し、高齢者や免疫機能低下者では重症肺炎の原因となることがあります。RSウイルスに感染している医療従事者や面会者を介して、施設内での集団感染の可能性もあり注意が必要です。

RSウイルスは、患者の咳、くしゃみなどによる飛沫感染、感染している人との濃厚接触、ウイルスが付着した物品を触ることによる接触感染により感染するので、風邪と同様にマスクの着用（咳エチケット）と手洗いによる予防が有効です。今年は例年よりも早く流行がみられているようですので、外出から帰ったときや、勤務開始前と終了後、食事の前、トイレの後などには、手洗いを十分に行い予防してください。

1) 国立感染症研究所

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/541-disease-base/d/alphabet/respiratory-syncytial/idsc/idwr-topic/7509-idwrc-1734.html>（平成29年9月12日閲覧）

新医師紹介



消化器内科 中西 明奈

初めまして、10月から国立高知病院に赴任しました、消化器内科の中西明奈と申します。平成27年に徳島大学を卒業し、そのまま徳島大学病院で初期臨床研修を行い、同消化器内科に入局しました。そし

てこの度異動となり、国立高知病院で働かせていただくこととなりました。

高知県には観光で数回訪れたことがあり、来る度に食べ物の美味しさや自然の豊かさに感動した記憶があります。高知での生活は非常に楽しみです。仕事の面では、新しい環境に早く慣れて、日々スキルアップできるよう邁進したいと考えております。

ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、高知の医療に貢献するため頑張ってみますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

新任紹介



薬務主任 高岡 昌司

初めまして、8月より薬剤部に薬務主任として着任いたしました高岡 昌司（たかおか まさし）と申します。出身は愛媛県松山市で、前任地である四国がんセンターは平成24年より5年4か月勤務いた

しました。四国がんセンターでは調剤、抗がん剤の無菌調製に加え、頭頸部がん、食道がんの病棟薬剤業務、外来化学療法剤の薬剤管理指導、院内製剤などを経験いたしました。

高知病院での勤務は、薬剤師として幅広く経験を積める機会だと思っております。不慣れな仕事でまだまだ落ち着きませんが、早く前任地の経験を活かした仕事ができるように頑張りたいと思います。至らぬ点も多々ありご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。

医療安全管理室だより

5 S 活動報告を終えて



医療安全管理係長 山本 三恵

当院では医療安全管理活動として毎年5 S活動に取り組んでいます。5 S活動とは「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の5つの頭文字をとっているもので、民間企業、特に工場などでは1980年代から積極的に取り入れている手法です。必要以上に物を置かない。誰でもすぐ分かる場所に物を置く、更に常に清潔に保つということを続けることで、探す手間を省いて作業効率を上げたり、不良在庫を抱えないためのコストを下げたりすることができ、最終的に企業の経済効率を高めるという効果があります。

医療の分野で考えると、コスト削減のほかに、物の定位置が決まってい、明確に表示されていることは物を取り出すときに誤って違う物を取り出すという危険の回避に繋がります。そして、誰でもすぐ分かる場所におくということは、緊急時に必要物品を取り出すときにその効果が発揮されと考えます。整理の中には医療機器の整理点検の内容も含まれ、医療機器の不具合による事故防止に繋がります。また、清掃・清潔は感染防止という観点から医療現場では重要なことと言えます。

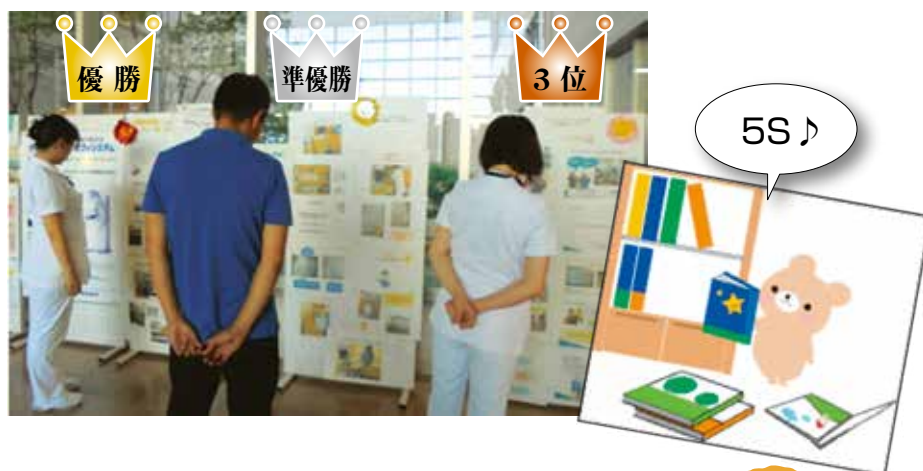
このような取り組みを、6月～8月までの3ヵ月の間に各部署で検討・実施し、結果を9月に報告をしました。今年度も22の部署が5 S活動に参加しました。今年の

傾向は、倉庫、器材庫などの棚の整理が主流でした。5 S活動は毎年行っているため、昨年度の活動をいかに継続するか、といった取り組みを期待していましたが、今年の報告にはありませんでした。新たな取り組みを行うことも大切ですが、継続することはさらに重要です。来年はしつけに関する活動に取り組んで欲しいものです。

活動報告は、その成果を称えるために投票を行い、投票結果の3位までは掲示期間を10月中旬まで延長し、1階受付ホール前に展示いたします。より多くの方に、職員の医療安全に対する思いや、取り組みを知っていただけたら幸いです。

最後になりましたが、5 S活動にご協力いただいた皆様ありがとうございました。

今年度 5S活動報告 投票結果上位3部署はこちら



職員の異動

7月2日付～10月1日付の人事異動

採用

看護師 片岡 茜 平成29年7月14日付
消化器内科レジデント 中西 明奈 平成29年10月1日付

転入

薬務主任 高岡 昌司 平成29年8月1日付
看護師 森田 良幸 平成29年10月1日付

退職

看護師 伊豆 千夏 平成29年8月31日付
看護師 和田 陽子 平成29年8月31日付
消化器内科医師 板垣 達三 平成29年9月30日付
自動車運転手(庶務係) 大野 通 平成29年9月30日付



看護学校だより

基礎看護学実習Ⅱ
を振り返って

教員 田中絵美子

8月29日から9月14日の12日間、高知病院で2年生（54期生）の基礎看護学実習Ⅱがありました。

当校では、54期生の基礎看護学実習Ⅰより、ループリック評価を導入しています。学生の学習活動を評価規準として明示し、これを基に学生は実習で何を学習しなければならないか、自己で考え、看護実践をリフレクションしながら到達状況を確認していきます。これまでは、指定の実習記録があり、決められた枠組みのもと看護展開を行っていましたが、A4サイズのノート自由に活用して学習を進めています。患者様との場面を大切にしたり、指導者や教員の助言から学びを深めたり、学生自身が体験したことや疑問に思ったことから学習を進めていくことができ、主体的に学べるという利点があります。絵を描いたり、マーカーで色分けしたり、個性が溢れるノートで見ているこちらにも楽しくなります。

以下、学生の声を紹介します。

- ◎自分が行った看護について、患者さんからの反応を見るのが楽しみだった。
- ◎授業で個性が大事と言われてもピンとこなかったが、実習に行って、いろいろな患者さんと関わるなかで、個性とは「ああ、そういうことか!」と理解できた。
- ◎振り返りの会に向けて、グループで学びをまとめているが、みんなの学びが多すぎてまとめるのが難しかった。話していくとどんどん学びが溢れてきた。

私自身、教員として初めての基礎看護学実習Ⅱでした。学生個々の学習進度や理解度に合わせた指導の難しさを痛感しましたが、学生の「わかった」「繋がった」瞬間に立ち会うことができ、実習でともに看護について考えられる喜びがありました。そして、実践を語る学生の生き生きとした表情や言動から、実習の手ごたえが読み取れました。

11月からは本格的に領域別の実習が始まりますが、看護が「楽しい」と思えるような実習になるよう、指導者さんと連携を取りながら効果的な学びになるようサポートしていきたいと思っています。今回の学びや課題をふまえ、より対象者に応じた看護実践ができるよう日々の学習から意識していってほしいと思います。

地域医療連携室だより

第9回地域医療連携連絡会

看護師長 西本 美香



夏の最大イベント地域医療連携連絡会を、8月5日18時からザ クラウンパレス新阪急高知で開催し、高知県下の病院から医師や地域医療連携室等の方々66名にご出席頂きました。院内参加者とあわせて総数144名と盛大に開催することができました。連携連絡会は、地域の医療機関との交流を深め、地域医療の発展に繋がることを目指しています。

二部構成で行い、第一部の地域医療連携連絡会は、大串院長の開会挨拶で始まりました。今年度、各診療科の先生方が日頃取り組んでいることを中心にプレゼンテーションを行いました。日頃の成果を発表する機会であり、各診療科入念な事前準備を行い力を入れたプレゼンテーションでした。私は、地域医療連携室の役割や、機能についてプレゼンテーションを行いました。前方支援での受け入れ体制につい

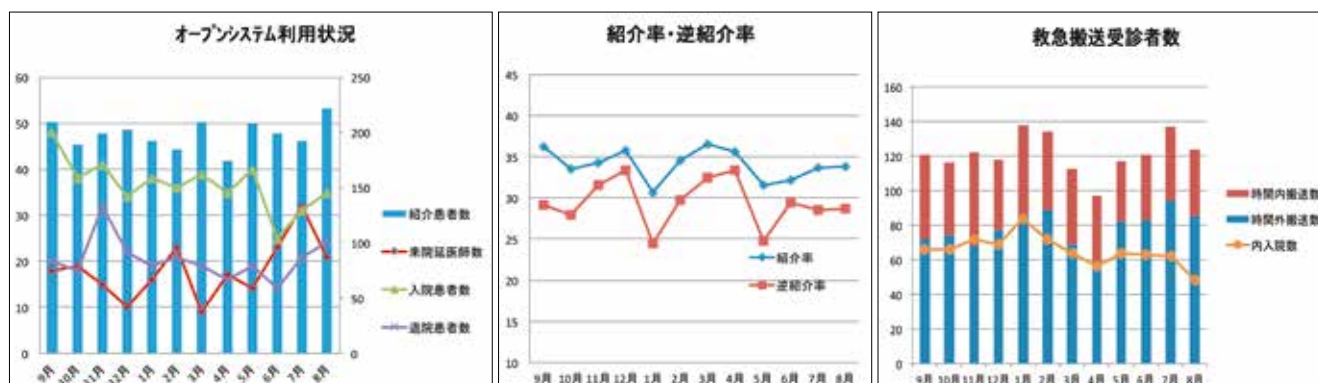
て、参加して下さった医療機関から当院への連絡方法を知ることができたと意見を頂きました。

第二部の意見交換会は、先山副院長の乾杯の挨拶で始まりました。各テーブルではご出席いただいている方々と活発な情報交換が行われました。地域の医療機関との連携を図り、顔の見える関わりを行っていくことの重要性を再認識することができました。

今後、地域包括システムを構築していくことが求められるようになり、職員一人ひとりが当院の役割や特色を理解し、患者のためにより地域との密接な関わりを図って行かなければならないと感じました。最後に院内の皆様方のご協力のもと開催することができ、感謝申し上げます。



●高知病院地域連携等概況



外来診療担当医表

(平成29年10月1日現在)

■受付時間 8:00~11:00

■休診日 土曜・日曜・祝日・12月29日~1月3日



独立行政法人
国立病院機構

〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号
TEL (088) 844-3111 FAX (088) 843-6385
http://www.hosp.go.jp/~kochihp

高知病院



診 療 科	区分・診察室番号		月		火	水	木	金
内 科	午 前	1 診	⑫	門田・町田(隔週)	田岡・岡野(隔週)	井上・今西(隔週)	栗原・篠原(隔週)	畠山・矢葺(隔週)
		特別外来	⑪	松森(糖尿病)	岩原(血液)	松森(糖尿病)	岩原(内科)	松森(糖尿病)
	午 後	専門外来				化学物質過敏症(予約制)		
神 経 内 科			⑰	不定期(院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。)				
呼 吸 器 内 科 アレルギー科	午 前	1 診	⑧	篠原 勉	大串 文隆 (受付10:00まで)	畠山 暢生	大串 文隆 (紹介のみ)	岡野 義夫
		2 診	⑥			田岡 隆成	町田 久典	篠原 勉
		3 診	⑫			大串 文隆		門田 直樹
	午 後	専門外来					禁煙外来 14:00~15:30(予約制)	
消 化 器 内 科	午 前		⑨	井上・中西	池田 敬洋	栗原 健士	井上 修志	池田 敬洋
循 環 器 内 科	午 前		⑦	山崎 隆志	西村 直己		山崎 隆志	
	午 後	専門外来					ペースメーカー(第2木曜)	
リウマチ科			⑩	松森 昭憲 (糖尿病も診察)		大串 文隆 (予約のみ)		松森 昭憲 (糖尿病も診察)
小 児 科	午 前	1 診	①	武市 知己	大石 尚文	武市 知己	小倉 英郎	大石 尚文
		2 診	②	大石 尚文		寺内 芳彦	武市 知己	高橋 芳夫
		3 診	③	寺内 芳彦	井上 和男	小倉由紀子	井上 和男	
	午 後	専門外来		神経・アレルギー (第2月曜医大循環器)	アレルギー 循環器	乳児健診	アレルギー NICUフォローアップ	神経・内分泌・腎臓 乳児健診
予防接種			14:00~16:00 (予約制)	14:00~16:00 (予約制)	14:00~16:00 (予約制)	14:00~16:00 (予約制)	14:00~16:00 (予約制)	
外 科	午 前		⑤	吉川 雅登	福山 充俊 (乳がん検診も実施)	山崎 誠司	福山 充俊 (乳がん検診も実施)	花岡 潤
	午 後	専門外来			福山 充俊 (乳腺外来)		日野・福山 (乳腺外来)	花岡 潤 (肝臓・胆道・脾臓外来)
整 形 外 科	午 前		①	福田 昇司		小林 亨	福田 昇司	合田有一郎
	午 後			骨粗鬆症(予約制) 13:00~15:00			田村 竜也	
脳神経外科	午 前	1 診	⑧	非常勤(10:00~12:00)		非常勤(9:00~11:00)		
呼吸器外科	午 前		⑦		先山 正二 日野 弘之		先山 正二 日野 弘之	坂本 晋一
小 児 外 科	午 前		⑤					
皮 膚 科	午 前		⑬	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾
泌 尿 器 科	午 前		⑨	渡邊 裕修	大河内寿夫	佐竹 宏文	渡邊 裕修	佐竹 宏文
				佐竹 宏文 (10:00~12:00)				大河内寿夫 (10:00~12:00)
産 科	午 前		⑮	滝川 稚也	福家 義雄	福家 義雄	小林 文子	予 約 制
	午 後			小林(超音波外来)(予約制)				
婦 人 科	午 前		⑳	木下 宏実	小林 文子 子宮頸がん検診(予約制) (10:30~11:30)	木下 宏実	滝川 稚也 子宮頸がん検診(予約制) (10:30~11:30)	木下 宏実
	午 後			福家(紹介患者)(予約制)		小林 文子(完全予約制)		思春期外来
眼 科	午 前		㉓	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子
耳 鼻 咽 喉 科	午 前		⑰	岩崎・内藤	岩崎・内藤	岩崎・内藤	岩崎・内藤	岩崎・内藤
	午 後							
リハビリテーション科								
放 射 線 科				小松 幸久	塩田 博文	小松 幸久	塩田 博文	小松 幸久

※内科の1診は、月曜日から金曜日まで全て、医師1名担当の交代制となっています。
 ※市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、平日の午前中外科外来にて行っています。